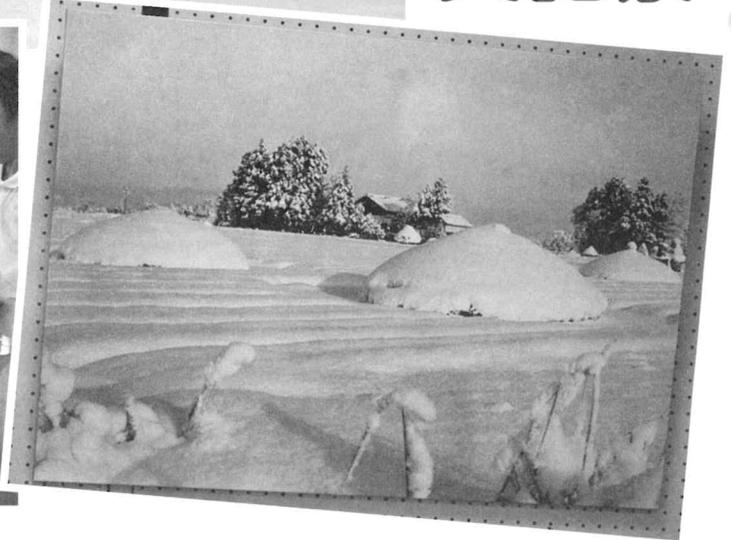


広報 やまの

No.121
2018.12.20

南砺市山野公民館
〒932-0204 南砺市飛騨屋20
TEL 0763-82-4510

敬老会 と 文化祭



一年を振り返って

市議会議員 川原 忠 史

今年、豪雪から始まり、大阪地震では、ブロック塀の倒壊により、女児の命が奪われる痛ましい事故が発生し、7月の西日本豪雨、北海道地震、台風上陸による豪雨など、多くの方の命が奪われ、自然の驚異にさらされた1年でありました。被災地の方々に、お見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

幸いにも当地区には、大きな災害もなく大変ありがたく思っています。

夏は、梅雨明け以降、連日35℃以上の猛暑が続き、災害にも匹敵する酷暑となりました。

さて、懸案でありました統合庁舎については、9月定例会において「市役所の位置を変更する条例の制定」が提案されましたが、9月定例会では採決とはならず、継続審査とし、議員間討議を進め、11月の臨時議会を開催し、「庁舎跡地の有効利用を含め市全体の均衡ある発展、公共再編では、地域のまちづくりの方向性や各種団体との協議を経て実施すること」とした附帯決議を付し、可決となりました。

一方、地区では、人口減少や高齢化社会に対応するための新たな自治組織、旧小学校単位で、自治振興会・地区公民館・地区社協の3組織を一本化し、地域の総力を結集し、地域の課題を自ら解決する「小規模多機能自治」の組織化に向け準備委員会が設けられ、地区内の中学生以上の住民を対象としたアンケート調査の実施など、平成31年4月スタートに向け進められています。いろいろな機会を通じてご意見を聞かせください。

結びに、山野地区の皆様のご健勝でござ幸でありますことを御祈念申し上げます。

山野地区

文化祭・敬老会

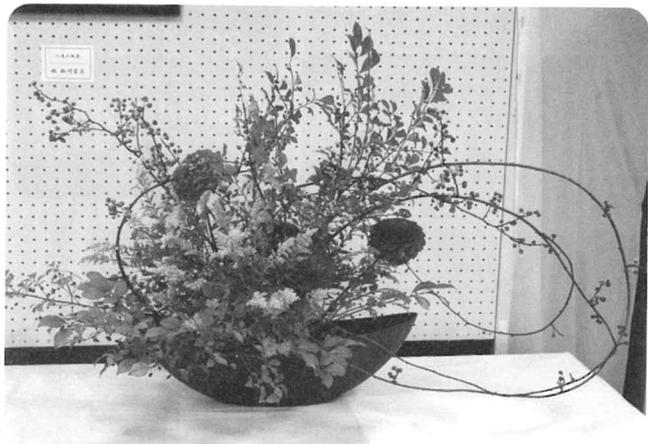
山野地区

文化祭・敬老会同日開催

文化部長

高木権一

天気予報は外れ、時折雨の寒い一日となりましたが公民館前のテントは防寒防風の横幕を張り、販売品のうどん・焼き鳥・おでん等々の準備も完了。



9時からの開場、久しぶりに会う元気な姿に思わず顔がほころぶ場面も見られました。

和室の展示会場では各種団体の活動記録の展示、また各グループ、個人の作品が展示してあり、かなり高度な技術が必要と思われるものも多く、年々レベルアップしているように感じられます。となりの部屋は茶室となっており、おいしいお菓子と



抹茶で一休み。会議室は昨年に続き山野地区内作家の絵画や写真が展示され、同時に大胆な中にも繊細さを感じさせる生け花が置かれこの部屋の調和を高めています。改めて才能のある方の多さに感動致しました。

午後は今回初めての同日開催となる敬老会の式典を開催させて頂き、多くの一般参加者とともに御祝いすることが出来ました。今年山野女性防火クラブ40周年記念の寸劇も披露され、2回目となる中国研修生による中国舞踊、そして最後はやはり一番人気である山野保育園の園児たちによる歌と踊りで閉幕となりました。関係各位のご協力に感謝いたします。

平成30年度山野地区文化祭と敬老会を合同開催して

文化祭・敬老会実行委員長、長寿会会長

南 眞司

山野地区の第37回文化祭と第12回敬老会が、10月28日に山野公民館で行われました。

文化祭は地区の文化や芸能を発表する場であり、また食を通して住民同士の交流の場でもあります。敬老会は、山野地区や社会に長年貢献され、

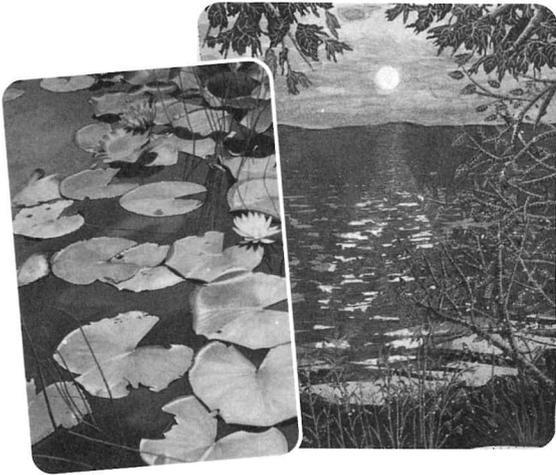
今日の繁栄の基礎を築いて頂いた方々へ、感謝し長寿へのお祝いをする行事です。両行事の趣旨や主催団体は違いますが、運営する関係者は重複しています。同一日に合同開催することで、関係者の負担軽減とより多くの住民参加を期待しました。



初めての合同開催で打合せや準備などに戸惑いもありましたが、公民館や地区社会福祉協議会（社協）の関係の方々の理解と協力を頂きました。当日は雨の降るあいにくの天気でしたが、関係する皆様の努力もあり、多くの住民の参加も頂き盛会に行うことができました。本当に感謝申し上げます。

今後南砺市は超高齢化や少子化で人口減少が一層進みます。山野地区も同様であり、南砺市全体で開始を目指している住民主体のまちづくり、「小規模多機能自治」を来年度から開始する予定です。具体的には、山野地区の自治振興会、公民館と地区社協が合併し、山野地区のまちづくりを主導する統合組織となります。

今回、文化祭と敬老会を公民館と地区社協が合同で行い、自治振興会をはじめ各種団体も全面的に協力して事業を遂行したことが、来年度に向け大切な一歩になったと思います。過去から現在まで多くの住民で築いてきた山野地区を、今後も住民の思いと行動によって、持続的に次世代につなぎ、愛着があり誇れる山野地区になることを祈念しています。



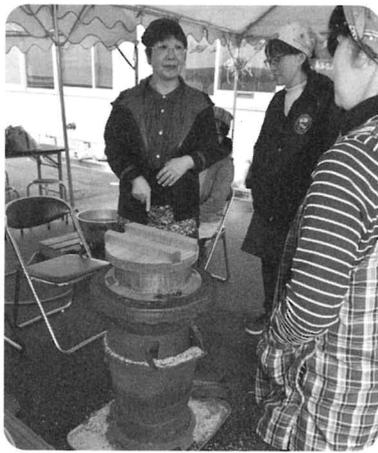
山野公民館 文化祭・敬老会に参加して

町内会長協議会

稲垣 貢

10月28日は朝より小雨の降るあいくの寒い日でしたが、各種団体の協力により文化祭が盛大に行われたことは、みなさん周知のことかと思えます。

今年、初めて文化祭と敬老会を同日に行うこととして、前売券の販売やPRの効果もあり、大勢の方々が山野公民館に訪れていただき、活気のある文化祭・敬老会となりました。



山野地区防災会では、昔懐かしい「ねかべつつい」を使ってご飯を炊き上げ、カレーを提供していました。またおなじみの焼きそば、うどん、おでん、焼き鳥や缶コーヒー、アルコールの販売など各種団体の総

力で模擬店も列の出る賑わいとなりました。

文化祭・敬老会が盛大に実施できたのも、各種役員、参加者、地区の皆さんのご協力のおかげと思っております。今後とも協力をお願いします。

おでん作り

長寿会女性部長

永井 美月

長寿会女性部メンバーはみな一度も経験がない二百人以上のおでん作り。

「前年度の方々よりおいしく作れなければどうしよう、買って下さる方が少なければどうしよう」などと一人で心配しておりました。

しかし、一応担当を決めてやり始めたおでん作り。スタートとともにみなテキパキとそして遅れている仕事へと回り、大きな鍋の中に、大根・人参・こんにゃくと次々に入っていく、自分が心配する必要がなかったことに気づきました。みんなですべてになって作ったおでん、大変だと思っていたことも楽しく思え、メンバーと過ごしたこの時間がとても貴重と感じました。

ご協力いただいた方々、又、おで

んを買って下さったお客様、本当にありがとうございました。



焼き鳥販売

母親クラブ

往 蔵 瑞 恵

私たち、育成会と母親クラブは、焼き鳥販売を担当させて頂いていただきました。役員の皆さんと、当日スムーズに販売ができるように役員会で入念に打合せをし、準備を行ないました。

公民館の方にもご協力をいただき、焼き台のU字溝を購入していただきました。おかげさまで効率良く焼き鳥を焼く事ができ、スムーズに販売することができました。ありがとうございます。

さて、今回は焼き鳥の味付けを塩味のみにして販売させていただきましたが、いただきましたが、いかがだったでしょうか？



用意した焼き鳥は、無事に完売することができました。売上金は子供達の為に、クリスマス会で使わせていただきました。

ご購入してくださった皆様、ご協力いただきました役員の皆様、心よりお礼申し上げます。

初参加の文化祭は司会者で！

青年会長

鎌 匠 志

私は、山野に来て4年目の新人です。文化祭があることは知っていましたがが今年初めて参加いたしました。それも司会という大役をいただき、緊張しながら、当日を迎えました。

活動発表は、全部で10もの個人・団体が踊りや歌、寸劇などを披露されていきました。どの団体もこの日のために一年かけて練習してこれ、とても素晴らしい発表でした。特に保育園児の発表は、みんな一生懸命でとてもかわいらしく癒されました。

緊張しながらの司会でしたが、周りのスタッフの皆様を支えられ、滞りなく行うことができました。大変感謝しております。

また文化祭を通して多くの方に出会うことができ、山野の皆様の温かさに触れることができました。

文化祭は、私にここに来て良かったと思わせるそんな行事でした。



盆踊り大会

盆踊り実行委員長

大 浦 均



今年7月が少雨で晴れの連続でしたが、お盆近くになると例年のように雨の心配があるような天気になりましたが、何とか今年も外で盆踊りができました。

今年の盆踊りも数多くの参加をいただきました。今年も最初の踊りは「にんにん忍たま音頭」でたくさん保育園児ら子供たちが舞台上上がって元気に踊ってくれました。つづいて炭坑節・里芋洗い音頭・郡上踊り・越中おわら節と続き、最後は例年のように木彫り音頭で締めくくりとなりました。模擬店では子供たちが綿あめを作ったり、スパーボールすくい盛り上がり、かき氷、飲料の販売などでにぎわいました。今後も山野地区の皆様を楽しみにしていただける行事になればと思っております。

最後に、御参加いただきました皆様、準備や運営、踊りや最後の片付けまで大変お世話になりました実行委員の皆様へ感謝申し上げます。ありがとうございました。



立山と白山

山野公民館長

森井 孫俊

日本三名山（日本三霊山）の富士山、立山、白山のうち、立山と白山の両方同時に遙拝できる地が山野地内にあるのをご存知でしょうか。

市道井口高屋線の飛騨屋県道交差点付近では立山は見えませんが、専勝寺地内に入ると剣岳が視界に入ってきます。高屋の「螺旋水車の館」付近まで来ると、ようやく真東の栴檀山丘陵の向こうに別山と立山主峰の雄山が現れます。視角を南に130度向けると、袴腰山と高坪山の鞍部（東海北陸道袴腰トンネル真上）に白山連峰の大汝峰と剣ヶ峰を望むことができます。

地図ソフトで山野地区の可視範囲を確かめると、白山は比較的広い範囲で望むことができますが、雄山は高屋地内に限られます。写真は平成30年11月21日に高屋地内の二万石用水路付近から撮影したものです。

砺波市荒高屋との市境から約100mの地点です。



「新春の集い」 休止のお知らせ

「新春の集い」は例年1月4日に山野地区住民が一堂に会して開催していましたが、近年は当初の開催趣旨が薄れてきたことと参加者が減少してきたことから今年度は休止します。次年度より小規模多機能自治がスタートし、すべての行事が見直し対象となることから検討課題としたいと思えます。

山野地区自治振興会

いご寄贈 有難うござります

先日、「山野文化祭・敬老会」でも披露されましたが、専勝寺の荒木光雄氏より、「銀映」と「春を待つ芋塚」の写真パネル2枚をご寄贈いただきました。「銀映」は第26回井

波町展で町長賞を受賞した作品

で、山野地区回

顧誌「共存同楽」

の表紙カバーに

なっており、「春

を待つ芋塚」も

同紙に折込写真

となっております。



今となつては懐かしい冬の「いもによう」の丸い姿に、時代の流れを感じておられる方も多いのではないかと思います。末永く、山野の原風景のひとつとして展示したいと思います。

富山県環境保健衛生 連合会長表彰

10月27日（土）婦中ふれあい館にて、第63回富山県環境保健衛生大会があり、「山野公民館環境美化委員会」が連合会長表彰を受けました。

平成26年の南砺市環境保健協議会表彰以来で、長きにわたって公民館前路側帯やプランターに花苗を植え、夏の暑い期間に毎朝水やりを行い、秋にはチューリップの球根に植え替え、又公民館回りの除草協力等美化活動にご奉仕・ご協力されたことが評価されたもので、頭の下がる尊い活動であると思えます。今後とも公民館を訪れる方々に憩いとくつろぎの気分を持つてもらえるよう、「花いっぱい運動」を展開していただきたいと思います。

願っています。



高齢者学級長として振り返って

高齢者学級長 木村繁二

●第1回 6月7日(木)

開講式・金融講座

「知って安心！聞いて納得！相続・贈与の話」



富山県金融広報アドバイザーの上田亨氏をお招きし、相続・贈与のお話を伺いました。相続相談の事例で争族にならないようにするには、保有財産の確認が大事である。財産が沢山ある場合には、例えば〇〇銀行に百億円、△△市にマンション一棟など簡潔に記録明記しておくこと。「遺言」も遺書とは違うので、付言事項の記載等は思い立った時に作成

すること。次に生前贈与についても例を挙げて解りやすく楽しくお話をさせて頂きました。まとめとして、相続について家族で話し合い、正しい知識を身につけて、早めの準備で心にゆとりを持つことが大事である。梅雨入り前の貴重な晴れ間に、39名の受講生の参加をいただきありがとうございました。

●第2回 7月12日(木)

能登島水族館見学旅行

西日本豪雨災害の報があり、朝から小雨降る中、28名の参加で水族館へ到着しました。水族館がリニューアルされ、のど海遊回廊・柱水槽などがありました。まずイルカショーを見学し、ジャンプなどの芸は知能と運動神経の良さに感心しました。イルカにも大海原を泳ぐもの、和歌山付近をいくもの、水族館で生きるもの等々、人間社会とよく似た所があるような気がします。秋篠宮殿下が視察されるらしく学術も大事ですが、私達は能登小牧台で昼食をとり、能登食祭市場に立寄り飲み物など頂き「能登の食」を満喫しました。16時頃山野に無事帰着し、旅の余韻に浸りました。



●第3回 11月22日(木)

法話・閉講式

妙蓮寺住職竹部俊恵様による法話を「明るい終活」の演題で拝聴しました。

先祖代々から生まれた貴重な命に感謝して、家族仲良く、寄り合いへの参加等笑って暮らす豊かな生活を目指そう。

形あるものはいつかなくなる。生は当たり前ではなく、病老死があたり前で身の上に来たことを大事に生きる。

今生きていることの感動をみいだすことがこれからの行く道。そこを尋ねてほしい。でもあまり考えても

答えはでないのかも。明るい終活の話はなかなか難しいが、なるがままに気楽に行きたい。不足を言わずに感謝を。
数々の提言をいただきましたが、38名の皆様ご参加ありがとうございました。



■高齢者学級を

担当させていただき感謝

長寿会行事に参加したことがない私が学級長をすることになり、各位には大変ご迷惑ご心配をおかけしたことと思います。年間行事予定の作成にあたっては、働き方改革で70歳まで勤める方も増え、時間の確保も難しいことから重複行事を省略し、今年3回の開催にしました。

会員各位、関係者の皆様のご支援を賜り無事終了でき、感謝申し上げます。

二世世代交流もちつきと クリスマス会



もちつき大会

母親クラブ 永井 ゆかり

前日から仕込みをし、当日つきたてのお餅や豚汁が提供された。主に老人会の皆さんが準備・用意をしてくださり、餅つきを子供たちが体験したり、お餅と豚汁を喜んで食べていた。餅は3種類あり、あんどきなこゴマで大満足である。豚汁は、さとも祭りのいも鍋よりおいしいという声が上がったほどのおいしさであった。具沢山でこれも大満足であった。今回は男性が餅つき全般をされたが、うまくいったとの感想が聞かれた。女性は餅加工や豚汁作り、洗い物を担当されていたが、皆頑張っていたとの声もあった。あんどこは手作り4時間程かけて大人数のあんどを用意した。当日も餅にあんどやきなこやこまを大人数分つけ、沢山の具材の皮をむき、切り、「豚



汁」を作り洗い物までして下さった老人会やボランティアの皆さま有難うございました。

クリスマス会

育成会 永井 賢 希

12月2日(日)午後より山野地区の子どもたちが山野公民館に集まってクリスマス会が開催されました。当日は朝から雲一つない晴天に恵まれ、約70人の幼児・小学生が参加してくれました。

クリスマス会の第一部では仲の良い友だちと集まって、皆で作ったタケコプターで遊んだり、DVDを観たりと、思い思いのことをしながら楽しんでいました。

第二部では、ケーキ、お菓子、ジュースを飲食しながら、楽しみにしていたビンゴ大会を行いました。

始めからどんどんカードの番号が呼ばれる子、なかなか持っているカードの番号が呼ばれない子と様々。それでも数字が呼ばれると、

「リーチ」と大きな声が上がるとうになってきました。その声が大きくなってくると、次第に会場もざわめき始めました。その時、「ビンゴ！」と大きな声が聞こえました。そして当たりの景品くじを引きました。結果はハズレ・・・。それでも景品を受け取ってとつても嬉しそうでした。

最後まで大盛りあがりのクリスマス会で、参加した子どもたちの良い思い出となったと思います。

小5 谷口 優衣和

サンタさんの司会と進行が上手でたくさん笑いました。ビンゴゲームは、かわいい景品が当たり、とても楽しい1日になりました。



ふれあいの和 山野っ子スポーツ大会

母親クラブ 宮林 悠 夏

今年のふれあいの和テーマは「スポーツテスト」。手のひら棒立て・ジグザグドリブル・立ち幅跳びetc、八つの種目にスタンプリリー形式でチャレンジしていく元気な山野の子供たちにびつたりのレクリエーションでした。友達同士で回ってタイムや距離の競争をしたり、兄弟で回って年下の子にコツを教えている姿や、親子で回って子供から「すごい！」の言葉を貰おうと奮闘しているパパの様子など一生懸命でほほえましく、たくさんの「ふれあい」が感じられました。スタンプリカードが埋まった後は、再チャレンジしたり、ストップウオッチ片手に監督を買ってでたりして最後まで思いっきり身体を動かした一日となりました。

スポーツ室が、子供たちの走り回る元気な足音や笑い声掛け声が、響き渡る賑やかな場となったことに安堵を感じるとともに、ご尽力いただきました役員の皆様に深く感謝申し上げます。



雄大な立山連峰を大満喫

＜山野公民館主催＞

雄山コース

村岡正義

いまや恒例となった山野公民館主催の、さわやか日帰り『夏の立山登山』。8月4日(土)6時に出発し気温すでに30℃立山の気温はどうかなあと思いつながら、参加者45名バスで出発。

室堂ターミナルで雄山コース(27名)2班にわかれて雄山頂上目指し出発。途中残雪があり大渋滞のなかを四苦八苦しなからリーダーの方から植物、花の名前を教えて貰いながら一ノ越到着。目の前600メートル先に目標の雄山山頂が見え、登る人が豆粒のように見え



登れるか不安でいっぱい。ニュートンの法則に逆らいながら悪戦苦闘の末12時ごろ雄山頂上へ。気温19℃雄山神社に参拝し清々しい気持ちと達成感でいっぱい。何物にも代え難いものです。雄山山頂を後に13時下山、そして参加者全員が室堂に到着し、立山登山の苦しさ楽しさを満喫できた一日となりました。リーダーの皆さんごめんなさい。立山から下りたら花の名前、植物の名前全部わすれました。皆さん来年はみんなで立山登らんまいけ。

天狗平コースに参加して

磯辺正博

重要文化財の室堂小屋やエンマ台展望台を巡り、みくりが池温泉で昼食と入浴、山々が水面に映え絶妙なコントラストを堪能しました。



天狗平に向け、岩ゴロの道や木の階段道、石畳の道を下ります。雪解けの湿地にはチングルマの白い花が、足元には花も落ちて羽毛状に風車の様に揺れ、可愛く咲いています。道端のベンチに掛けて眺める立山の壮大で、神秘的な深緑の色合いは、忘れられません。道中ハイカー同志の「こんにちば」と声を掛け合い

年の瀬が近づき、忘年会などの行事で多忙に過ごされていると存じます。この冬は暖冬であると予報されており、例年より温かい日々が続いています。冬の寒さもいずれ訪れると思いますが、寒暖の差により体調が崩れることがないように気を付けましょう。皆様、体調に気を配りながら、新年を迎える準備をしてより良い新年をお迎えください。(育成会)

編集後記

道を譲りあう様子に一体感がわき、心やかに散策が出来ました。大自然の豊かさや脅威に比べれば小さな人間の営みに幸せを感じている自分たち。もう一度登りたい！疲れを忘れさせる一日でした。



男の料理？『芋鍋』を囲んで

壮年会 村岡裕一

師走の雪もちらつく寒い日となった12月9日、山野壮年会の「男の料理教室」に参加しました。今年度は、講師はなく、会員有志らの試行錯誤にて『芋鍋』に挑戦しました。

材料は、山野の里芋、白ネギ、白菜、大根、ニンジン、ゴボウ、舞茸、豚肉、厚揚げです。味付けは、味噌と醤油味の2種類です。調理といつても、材料を刻んで鍋に入れてじっくりと煮込むというシンプルな作業でしたが、

鍋の中では、里芋らの個性あふれる素材の味と、味噌醤油の調味料が素材にしみ込み混ざり合っており、絶妙な味の『芋鍋』となっていました。

鍋が出来上がれば、ここからお楽しみ、鍋を囲み歓談です。寒くなると鍋が心を温めて話も弾みます。地域の中核となる壮

年会員の皆さんが各地域の情報を交換し、これからの集落や山野地区のことについて語り合いました。今年度は暖冬が予想されるというのですが、それでも集落内で、家族で、『温かい鍋』を囲み、色々と楽しく語り合いたいものです。



パークゴルフ大会結果 H30.8.26



1位 岩元 泰也 (3連覇)

2位 西田 久美子

3位 金田 秀樹